

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM14Z001	医療倫理学 I (Medical Ethics I)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	前期	月・3限	今井 浩光 内線：5600 E-mail：imaih@noita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

医療における倫理を学ぶ基礎として、倫理の概念、倫理学の歴史と規範倫理学を中心とする代表的な倫理理論の考え方を学修する。それを元に、現代社会における医療の意味、医の倫理が形成されてきた過程、医療や医療者に求められる倫理、様々な社会規範と倫理の関係性、望ましい医療者患者関係などについて、学びを深める。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 倫理学の歴史と代表的な倫理理論を理解する。	○					
2. 社会における医療の意味について考察する。				○		
3. 医の倫理、望ましい医療者患者関係について理解する。					○	

#### 【授業の内容】

1	倫理学の基礎、倫理的判断のあり方
2	生命の価値、尊厳、社会と個人のあり方 (医学の歴史の変遷)
3	規範倫理学1 (徳の倫理学)
4	規範倫理学2 (帰結主義)
5	規範倫理学3 (義務論)
6	権利について (権利論)
7	法と倫理
8	患者の権利
9	医の倫理の歴史
10	プロフェッショナリズムと医療者の責務
11	医療者患者関係とインフォームド・コンセント
12	ケアの倫理
13	動画コンテンツ視聴
14	
15	

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認		倫理的なジレンマを生む状況について、自らの考察をまとめ、レポートを作成する。少人数でのグループディスカッションにて多様な考え方があること、多面的な考察の重要性を学ぶ	【その他の工夫】 動画コンテンツを活用する
B：意見の表現・交換	○		
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを通じて、倫理的な課題を含む社会の出来事に常に興味を持つ (15h)
事後学修	関心を持った事例について、授業で学習した知識、考え方を活用して、考察する (15h)

#### 【教科書】

資料を配布する。

#### 【参考書】

特になし。

【成績評価方法及び評価の割合】								
評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7
試験	90%	○	○	○				
レポート	10%		○					
【注意事項】								
【備考】								

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	附属病院の医師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	医療現場で起こる倫理的ジレンマを講義の題材とする。	
授業形態		